

文化経済・国際課 概算要求事項

文化経済戦略推進事業

29百万円（前年度予算額 30百万円）

「文化経済戦略」で掲げられた「文化と経済の好循環」実現に向け、文化・芸術界と経済界との対話の場を新たに設定し、両者の総合的・戦略的な対話チャンネルを構築する。あわせて、これらのチャンネルを活用し、民間企業のリソースを活用しながら、文化資源を生かした経済的価値の創出のためのネットワークラボを形成する。

我が国におけるアート・エコシステムの形成

192百万円（前年度予算額 192百万円）

我が国におけるアート振興のための基盤の整備と日本作家及び現代日本アートの国際的な評価を高めていく活動を展開し、世界のアート市場規模に比して小規模にとどまっている我が国アート市場の活性化と我が国アートの持続的発展を可能とするシステムの形成を目指す。

<国際文化交流室>

芸術家・文化人等による日本文化発信・相互交流事業

68百万円（前年度予算額 68百万円）

○ 日本文化発信事業（文化交流使）

日本の第一線で活躍する芸術家、文化人等を「文化交流使」に指名。交流使は複数の国に一定期間滞在し、公演・講義・デモンストレーション等を行い、日本の多様な文化芸術を世界に発信する。

○ 芸術家・文化人等の相互交流事業

諸外国の文化政策を担当する行政官及び海外で活躍する外国人芸術家・文化財専門家を招へいし、我が国関係者とのネットワーク強化を図り、将来に向けた海外展、共同展覧会開催のきっかけづくりなど、長期的な日本文化発信の土壌形成を目指す。

国際文化交流・協力推進事業

242百万円（前年度予算額 242百万円）

首脳間や政府間で設定される周年事業など、国際的な要請や文化政策上の意義に基づき、公演・展示事業などの国際文化交流・協力の重要案件に係る事業を実施する。

東アジア文化都市

経緯

2012年の第4回日中韓文化大臣会合での合意に基づき開始。

内容

3か国から選定された都市が、都市間交流を含む文化芸術事業を集中的に実施。

活動例

オープニング／クロージングイベント、国際芸術フェスティバル、書道交流、青少年交流等。

効果

- ・東アジア域内の相互理解・連帯感の形成の促進
- ・東アジアの多様な文化の国際発信力の強化
- ・都市の文化芸術・クリエイティブ産業・観光振興と継続的な発展



◎2020年選定都市の概況

	北九州市	揚州市(中国)	順天市(韓国)
人口	約95万人	約459万人	約28万人
面積	約492km ²	約6,591km ²	約907km ²

<日本側都市の事業実施状況>

横浜市(2014年)	新潟市(2015年)	奈良市(2016年)	京都市(2017年)	金沢市(2018年)
✓ 期間中に100事業を実施 ✓ 来場者は約280万人	✓ 期間中に295事業を実施 ✓ 来場者は約357万人	✓ 期間中に112事業を実施 ✓ 来場者は約127万人	✓ 期間中に129事業を実施 ✓ 来場者は約50万人	✓ 期間中に172事業を実施 ✓ 来場者は約92万人